

令和 7 年度第 6 回天竜区協議会地域課題

地域課題	保育ママ事業の要綱見直しと拡充について
提案委員	海老原 政彦 委員
要 旨	<p>第 3 次中山間地域振興計画に新たに加わった主要施策の「子育てが出来る環境づくり」を整備する事において、保育ママ事業は重要な位置を占めている。しかしながら実際に保育ママ事業を行っている方々や、保育ママ事業を必要としている地域の方々から、保育ママ事業についていろいろな要望の声が挙がっている。</p> <p>保育ママ事業実施要綱も毎年の様に改訂されてはいるが、さらに保育ママ事業を拡充するために下記 6 つの項目を挙げる。</p> <p>1 対象児童を拡大すべき</p> <p>現在対象児童は天竜区在住および天竜区に勤務している保護者の児童となっているが、<u>天竜区に父母、祖父母が居住している保護者の児童も対象にするべき</u>だと考える。それによって若い世代が天竜区に暮らす親世代の農作業などを手伝う環境づくりが整備される。</p> <p>2 未就学児の幼稚園から事業実施場所まで第三者の引率を認めるべき</p> <p><u>保護者が認めた家族以外の第三者の引率を認めるべき</u>と考える。担当課からは万が一の事故などの場合に責任が取れない旨の説明があったが、<u>移動中の事故などの責任については保護者が負う事を明記した書類を提出する事などで対応可能</u>ではないか。</p> <p>現状では未就学児の保護者は午後に一旦幼稚園に子供を迎えに行き、保育ママ事業が行われているところまで連れていき、それからまた会社などに戻るという<u>非現実的な対応をとらざるを得ない状況</u>である。</p> <p><u>核家族化が進んでいる現状を踏まえた対応をすべき</u>だと考える。</p> <p>3 複数の保育ママの連続保育を認めるべき</p> <p>一人の預かり児童について複数の保育ママの連続保育を認める事で、<u>保育ママ一人一人の負担を軽減</u>し、よりよい保育につながるのではないか？</p> <p>4 日曜・祝日も保育ママ事業が実施出来るようにすべき</p> <p>日曜・祝日に仕事などがある保護者の児童が保育ママの対象外となるのは、<u>制度の公平さに欠ける</u>のではないか。</p>

裏面へ続く

令和7年度第6回天竜区協議会地域課題

5 一日の委託料の上限を撤廃、もしくは上限金額を増やすべき

現在の上限では、保育ママを実施出来る時間が一日あたり約11時間となっている。例えば児童2人を保育する場合、児童1人あたり5.5時間しか保育出来ない事になり、仕事をしている保護者にとっては仕事を早退せざるを得なくなる。

今年度から天竜区に勤務している保護者の児童も対象となった事を踏まえても、委託料の見直し等は至急する必要があると考える。

6 手続きの簡素化（オンライン化）

これは熊地区の問題ですが、保育ママの登録から始まり、保育ママ実施後の書類提出まで直接天竜区の担当課まで出向くのは、保育ママの方々にとても負担になっている。

ふれあいセンターへの提出については、保育ママの担当者がいないから不可という事ですが、例えばオンラインとFAXを使うことで可能ではないか。提出書類をスキャニングして送り、担当者とはふれあいセンターのPCやタブレット等でオンラインで確認し合えば良いと考える。

区役所まで片道40分弱かかる事を考えてもオンラインの活用を進めるべきだと考える。

令和 7 年度第 6 回天竜区協議会地域課題

地域課題	スクールバス通学について
提案委員	牧内 真美 委員
要 旨	<p>城西（佐久間町）から、隣町の水窪小学校、中学校に通っている子がいるが、親の送迎で通っている。</p> <p><u>水窪の子はスクールバスで通えて、城西の子だと乗れないのはどうなのか。</u>子供が減り統合する学校が増えている中で、この問題はかなり深刻だと考える。</p> <p>教育という観点からだけでは改善が難しいと言われてしまうと思うが、親の送迎の負担がなくなれば、働く時間を増やせる、趣味の時間がとれるなどの沢山のメリットが生まれると考える。</p> <p><u>天竜区だけの問題にせず、住みよい浜松市を目指すならば、子供達が安心安全に通学でき、子育てのしやすい市になることは、移住にもつながると考える。</u></p> <p>教育の担当の方だけでなく、移住のことを担当している課や、ほかの課の方でも何か前進するようなアイデアがあれば出し合うことはできないか。</p> <p>いきなり大きな改善に向かうことは無理だとは思いますが、何か突破口がありそうであればどの課の方でもいいので教えていただきたい。</p>